

研究No. (記載不要)	17 - 学長 - 4
-----------------	-------------

平成 17 年度配分 研究成果の概要

研究名	歴史的な町家と蔵を活かした地域活性化に関する研究				
配分を受けた特別研究費	学長 特別研究費 1,500 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン 学部	空間造形学科	教授	川口 宗敏	・現地調査 ・ワークショップとイベン トの開催 ・活性化方策研究のま とめ
共同 研究 者	デザイン 学部	空間造形学科	教授	寒竹 伸一	・現地調査 ・ワークショップとイベン トの開催 ・活性化方策研究
表発の方法	1 紀 要			号 数	第 号
	2 学会等での発表			発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: ・第1回森町「町並みと蔵展」開催 (会場:森町中心市街地) ・第2回森町「町並みと蔵展」開催 (会場:森町中心市街地)			発表日	・平成17年12月3日～ 4日 (第1回森町「町並みと蔵 展」開催) ・平成18年4月1日～ 2日 (第2回森町「町並みと蔵 展」開催)

(研究の目的等)

静岡県西部に位置し、遠州の小京都と言われる森町に残る歴史的な町家や蔵を調査し、森町住民と共にワークショップを開催して、歴史的な景観資源を活かした地域活性化策について研究した。

現在、秋葉街道沿いに形成された森町には、古い町家や路地沿いの蔵、常夜灯、社寺等、歴史を感じさせる施設が残っている。しかし、中心市街地においては、住民が郊外へと移転し、空家や空き地が増え、古い町並みの維持・保全が大きな課題となっている。そこで、この歴史的資源を現地調査し、地域住民と共に、将来の活用化方策について話し合いを持った。又、具体的な活性化方策として、実際に中心市街地に住む多くの町民を巻き込み、森町の歴史的資源を活かしたイベント「町並みと蔵展」を開催した。

(研究の実施方法等)

- ① 森町の古い町家、蔵、常夜灯、社寺等の街並み調査を実施した。
- ② 町家や蔵を活かした先進地事例の情報収集を行った。
- ③ 森町の関係団体、住民等と中心市街地活性化に関するワークショップを開催した。
- ④ 森町の中心市街地活性化のために、シンポジウムを開催すると共に、イベント「町並みと蔵展」を、2回実施した。

(得られた成果等)

- ① 森町の蔵を中心とした歴史的な町並み調査を行い、歴史的資源マップ等を作成した。
- ② 町の中心市街地活性化のためのワークショップを行い、シンポジウムや静岡文化芸術大学の学生も参加したイベント「町並みと蔵展」を開催することで、多くの町民と交流することができた。
- ③ イベント「町並みと蔵展」の新聞記事掲載等により、大学の存在を町の内外にアピールできた。